

令和3年度 箱根町町政モニター第5回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

住宅の耐震化について

○ 調査理由

住宅の耐震化について、町政モニターの皆様が、現状、どのように考えているのか、居住している建築物の状況や町の補助制度に対する認知度、その他ご意見等を把握し、今後の町の補助制度等のあり方を検討するため、アンケート調査を実施しました。

○ 回答期間

令和4年2月17日(木)から3月2日(水)まで

○ 対象者

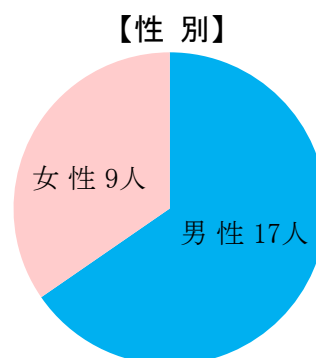
箱根町町政モニター 67人

○ 回答者数(回答率)

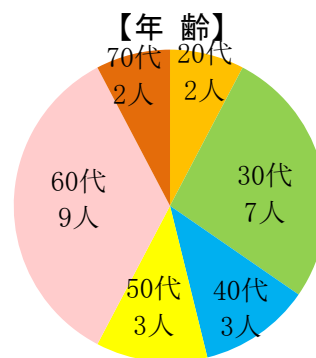
26人(約38.8%)

○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	17	65.4%
女性	9	34.6%
合計	26	100.0%



年齢	回答者数	割合
20代	2	7.7%
30代	7	26.9%
40代	3	11.5%
50代	3	11.5%
60代	9	34.7%
70代	2	7.7%
合計	26	100.0%



### ○現在の住宅の状況について(質問[1]~[6])

住宅の建築時期について、「昭和56年以前」と回答した人は23.1%で全体の約1/4の人が旧耐震基準の建築物にお住まいであることが分かります。

住宅の構造については、「木造」と回答した人が42.3%で半数近い人が木造住宅にお住まいであることが分かります。

大規模な地震(震度6以上)が発生した場合、「修復可能な被害を受けと思う」が57.8%で最も多く、「修復不能な被害を受けと思う」が19.2%、「倒壊すると思う」が11.5%、「被害はないと思う」が7.7%と続いています。お住まいの住宅に被害を受けると感じている人は、合わせて88.5%となっており、地震に対する不安をお持ちの人が非常に多くいることが分かりました。

### ○耐震診断・改修の状況について(質問[7]~[11])

耐震診断を「実施したことがある」と回答した人は7.7%、耐震改修工事を「実施したことがある」と回答した人は3.8%と耐震診断及び耐震改修工事を実施したことがある住宅は極めて少ないことが分かります。

また、「耐震性が確認されていないが、実施したことがない」と回答した人のうち、実施しない理由で最も多かったのは、耐震診断及び耐震改修工事ともに「費用がかかるため」でした。

さらに、耐震改修工事を行う場合に、工事に支払うことができる費用は「50万円以下」が30.8%で最も多く、「100万円以下」が19.2%、「10万円以下」が11.5%と続いています。

町内では、個人住宅の耐震化がなかなか進んでいないのが現状です。そうした中、耐震化が進まない理由を調べ、建築物の所有者のニーズを把握するために調査をしました。この結果として、耐震診断や耐震改修工事を行う上で、費用面での負担が不安であり、できるだけ自己負担を抑えたいということが分かりました。

### ○町の事業の認知度について(質問[12])

木造住宅耐震診断士派遣や木造住宅耐震改修補助について、「知らない」と回答した人が69.2%でした。

町のホームページや広報はこね、ダイレクトメール等で周知活動を行っていますが、ご存知である人が少なく、周知方法等のさらなる検討が必要であると考えられます。

### ○総論

今回の調査では、町政モニターの皆様が住宅の耐震化についてどのように考えているのか、居住している建築物の状況や町の補助制度に対する認知度、その他ご意見等についてお伺いさせていただきました。

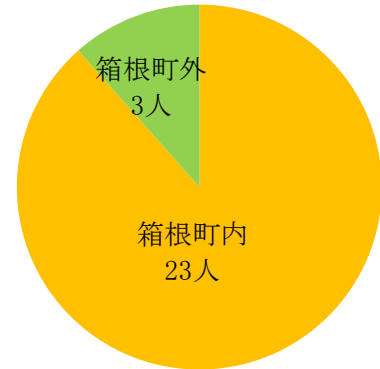
調査結果としては、大規模な地震が発生した場合、お住まいの住宅が大きな被害を受けると感じている人が多くいる一方、耐震診断及び耐震改修工事は費用がかかるため実施しないという人が多くいることが分かりました。

今回の結果を参考とし、今後の町の補助制度のあり方や周知方法等について検討していきます。

### 3 アンケート集計結果

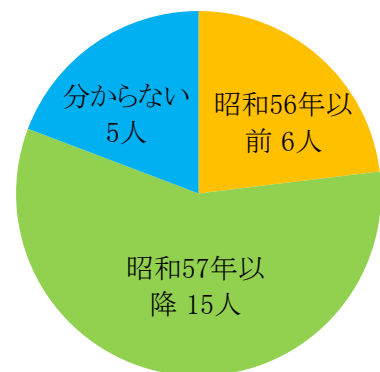
[1] 現在のお住まいについてお聞きします。

No.	選択項目	回答数	割合
1	箱根町内	23	88.5%
2	箱根町外	3	11.5%
合 計		26	100.0%



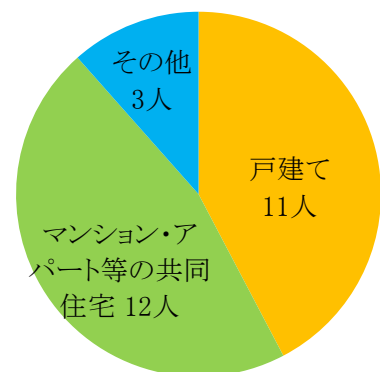
[2] 現在お住まいの住宅の建築時期についてお聞きします。

No.	選択項目	回答数	割合
1	昭和56年以前	6	23.1%
2	昭和57年以降	15	57.7%
3	分からない	5	19.2%
合 計		26	100.0%



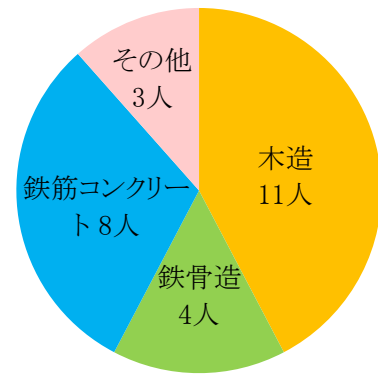
[3] 現在お住まいの住宅の形態についてお聞きします。

No.	選択項目	回答数	割合
1	戸建て	11	42.3%
2	マンション・アパート等の共同住宅	12	46.2%
3	その他(記述欄あり)	3	11.5%
合 計		26	100.0%



[4] 現在お住まいの住宅の構造についてお聞きします。

No.	選択項目	回答数	割合
1	木造	11	42.3%
2	鉄骨造	4	15.4%
3	鉄筋コンクリート	8	30.8%
4	補強コンクリート	0	0.0%
5	その他(記述欄あり)	3	11.5%
合 計		26	100.0%

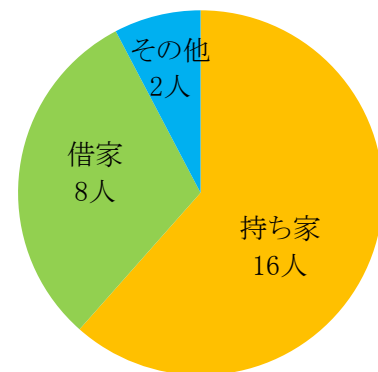


「5 その他」を選択した方の意見

- ・ プレハブ
- ・ プレハブ造り
- ・ 分かりません。地震保険に入る際に問い合わせしましたが分かりませんでした。

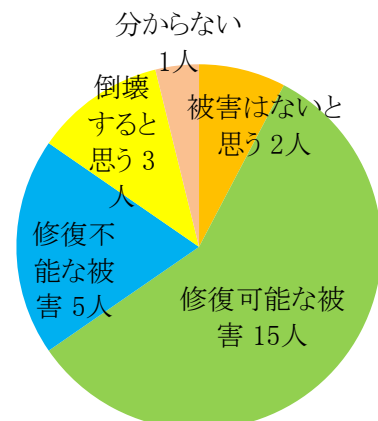
[5] 現在お住まいの住宅の所有状況についてお聞きします。

No.	選択項目	回答数	割合
1	持ち家	16	61.5%
2	借家	8	30.8%
3	その他(記述欄あり)	2	7.7%
合 計		26	100.0%



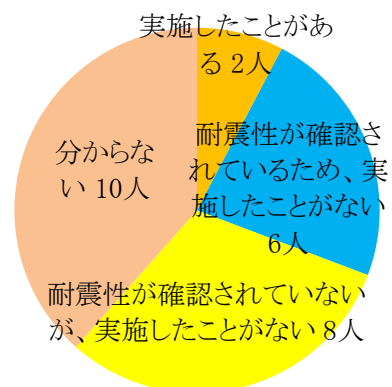
[6] もし、大規模な地震(震度6以上)が発生した場合、お住まいの住宅の被害はどの程度のものと想定されますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	被害はないと思う	2	7.7%
2	修復可能な被害を受けると思う	15	57.8%
3	修復不能な被害を受けると思う	5	19.2%
4	倒壊すると思う	3	11.5%
5	分からない	1	3.8%
合 計		26	100.0%



[7] お住まいの住宅で、耐震診断をしたことがありますか。

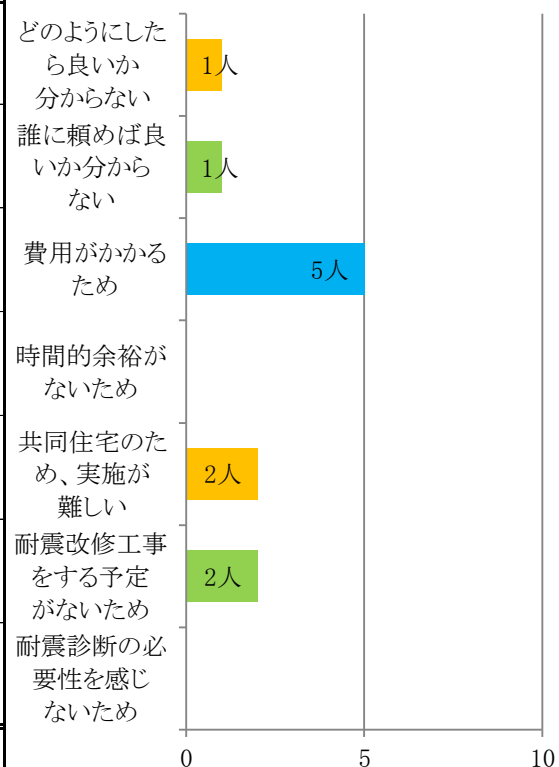
No.	選択項目	回答数	割合
1	実施したことがある	2	7.7%
2	実施する予定である	0	0.0%
3	耐震性があることが確認されているため、実施したことがない	6	23.1%
4	耐震性があることが確認されていないが、実施したことがない	8	30.7%
5	分からない	10	38.5%
合 計		26	100.0%



質問8は質問7で「4 耐震性が確認されていないが、実施したことがない」と答えた方にお聞きします。

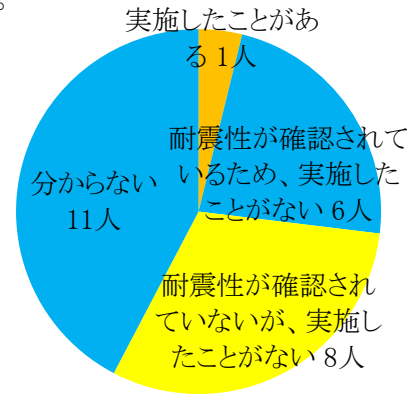
[8] 耐震診断を実施しない理由は何ですか。(複数回答可)

No.	選択項目	回答数
1	どのようにしたら良いか分からない	1
2	誰に頼めば良いか分からない	1
3	費用がかかるため	5
4	時間的余裕がないため	0
5	共同住宅のため、実施が難しい	2
6	耐震改修工事をする予定がないため	2
7	耐震診断の必要性を感じないため	0
合 計		11



[9] お住まいの住宅で、耐震改修工事をしたことがありますか。

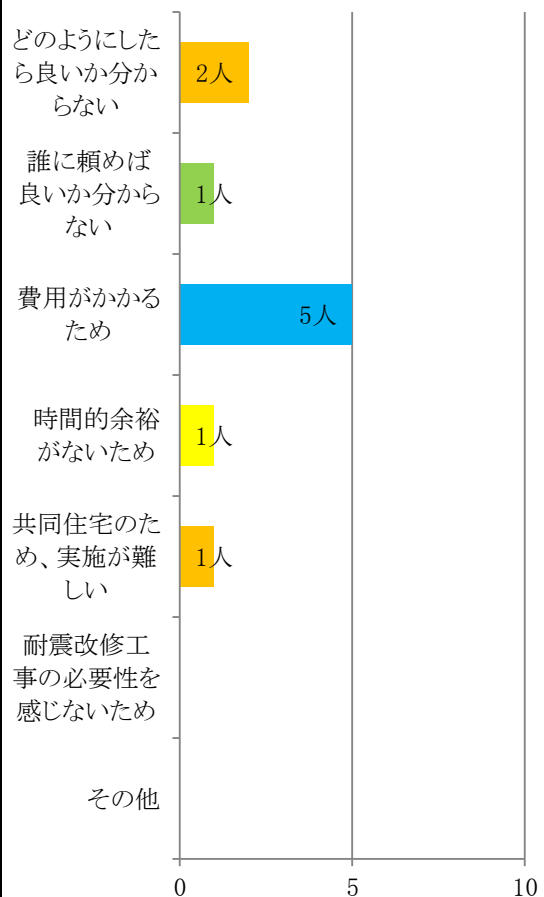
No.	選択項目	回答数	割合
1	実施したことがある	1	3.8%
2	実施する予定である	0	0.0%
3	耐震性があることが確認されているため、実施したことがない	6	23.1%
4	耐震性があることが確認されていないが、実施したことがない	8	30.8%
5	耐震改修工事ではなく、建替え工事を行う予定である	0	0.0%
6	増築したが、耐震改修工事ではない	0	0.0%
7	分からない	11	42.3%
合 計		26	100.0%



質問10は質問9で「4 耐震性が確認されていないが、実施したことがない」と答えた方にお聞きします。

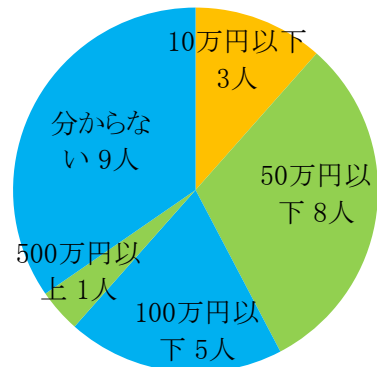
[10] 耐震改修工事を実施しない理由は何ですか。(複数回答可)

No.	選択項目	回答数
1	どのようにしたら良いか分からない	2
2	誰に頼めば良いか分からない	1
3	費用がかかるため	5
4	時間的余裕がないため	1
5	共同住宅のため、実施が難しい	1
6	耐震改修工事の必要性を感じないため	0
7	その他(記述欄あり)	0
合 計		10



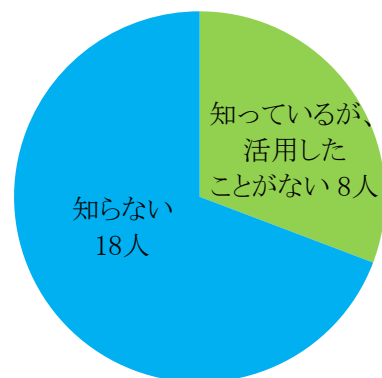
[11] 耐震改修工事を行う場合に、工事に支払うことができる費用はどれくらいですか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	10万円以下	3	11.5%
2	50万円以下	8	30.8%
3	100万円以下	5	19.2%
4	300万円以下	0	0.0%
5	500万円未満	0	0.0%
6	500万円以上	1	3.8%
7	分からない	9	34.7%
合 計		26	100.0%



[12] 町は、地震に強いまちづくりを進めるため、木造住宅耐震診断士派遣や木造住宅耐震改修補助を行っていることを知っていますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	知っており、活用したことがある	0	0.0%
2	知っているが、活用したことがない	8	30.8%
3	知らない	18	69.2%
合 計		26	100.0%



[13] 住宅の耐震化に関する事について、ご意見があればご記入ください。

区分	一 覧
<p>築年数等の情報について</p>	<p>築年数がわからないほど古い町営住宅に住んでいます。（募集の際の築年数は忘れました）住人には耐震に関する情報は知らせて欲しいです。（今後、募集するどの町営住宅でも）</p> <p>建物の外観に、表記されているとわかりやすいです。</p>
<p>補助制度について</p>	<p>日常生活と少し離れる質問ですので、考える時間が必要です。耐震は、自分の家だけの問題ならば、洪水や山崩れと異なり壊れても町としての被害は大きくないと思います。診断の促進、補強工事の補助、専門業者の認定と紹介、立て替え時の補助などが考えられます。町の施設の耐震化は、大丈夫でしょうか？地震に伴う道路の崩壊危険はないでしょうか？地震による火災に対して、十分な消火体制はあるか？ などの方が優先されると思います。</p> <p>必要だとは思っていますが、変な業者には頼みたくないし、どこまで信用して良いのかも分かりません。また工事中はどうしたら良いかも不安です。（住めないのは困ります）町からも補助とかあれば利用しますが、費用的な不安も大きいです。</p>
<p>その他</p>	<p>耐震化は非常に重要と思います。今回の質問もそうですが、箱根町のHPでも「現在箱根町にお住まいの方」という表現が度々あります。これは、箱根町で多いセカンドハウスなども含むのかどうか分かりません。セカンドハウスや別荘も含めた耐震化補助の案内かどうか、わかりやすくしていただけると助かります。</p> <p>また耐震化は優先事項ですが、耐火災性、エコに向けての補助（住宅の断熱性向上化、自動車充電（＝元箱根やターンパイク上にはない）や水素補給ステーションの設置など）も箱根町には必要なテーマですので、ぜひご検討よろしく申し上げます。</p> <p>耐震化よりも噴火対策が必要。</p>